

2023年11月2日

各位

会社名 東武鉄道株式会社  
 代表者名 取締役社長 都筑 豊  
 (コード番号 9001 東証プライム)  
 問合せ先 財務部課長 会田 賢太郎  
 (TEL. 03 - 5962 - 2183)

## 第2四半期業績予想と実績との差異 及び業績予想の修正に関するお知らせ

2023年4月28日に公表した2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2023年4月1日～2023年9月30日)と、本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年4月28日に公表した2024年3月期通期業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)について最近の業績動向等を精査した結果、予想が変動する見通しとなったため、業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 第2四半期業績予想と実績との差異

##### (1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績との差異 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 297,000	百万円 25,000	百万円 23,000	百万円 15,500	円 銭 74.40
実績値(B)	308,582	39,087	38,200	26,375	127.59
増減額(B-A)	11,582	14,087	15,200	10,875	—
増減率(%)	3.9	56.3	66.1	70.2	—
(参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	285,422	24,097	23,151	13,030	62.46

##### (2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更による行楽需要や海外からの入国制限解除による訪日外国人旅行客の急回復により、鉄道利用者や東京スカイツリータウンをはじめとした各商業施設への来場者等が増加したことに加えて、都内ホテルを中心に稼働率及び客室単価が想定を上回りました。さらに、前年から高騰していたエネルギー価格の落ち着きにより、特に鉄道業における動力費のほかグループ全体の水道光熱費が減少したことで、当社グループの業績は前回公表の予想を上回る結果となりました。

## 2 業績予想の修正

### (1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 605,500	百万円 46,500	百万円 42,500	百万円 28,500	円 銭 136.80
今回修正予想 (B)	626,000	65,000	62,000	41,000	198.34
増減額 (B - A)	20,500	18,500	19,500	12,500	—
増減率 ( % )	3.4	39.8	45.9	43.9	—
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	614,751	56,688	54,815	29,179	140.06

### (2) 修正の理由

2024年3月期通期業績予想につきましては、第2四半期までの業績動向等を踏まえ、行楽需要や訪日外国人旅行客の増加等による運輸事業及びレジャー事業を中心とした回復傾向に加えて、足元のエネルギー価格を踏まえて鉄道業における動力費の見直し等を行った結果、前回予想 (2023年4月28日公表) から上方修正いたしました。

なお、第2四半期決算及び業績予想の詳細につきましては、本日別途公表の「2024年3月期第2四半期決算短信」及び「2024年3月期第2四半期決算補足説明資料」をご覧ください。

また、2023年4月28日の決算短信で公表いたしました配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表の「2024年3月期第2四半期決算短信」及び「剰余金の配当 (中間配当) 及び期末配当予想の修正 (増配) に関するお知らせ」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想値と異なる可能性があります。

以 上